

第1回政策評価審議会 議事要旨

1. 日 時 平成27年5月12日(火)10時00分から10時55分
2. 場 所 中央合同庁舎第2号館 総務省省議室
3. 出席者
(委員)
岡素之会長、谷藤悦史会長代理、牛尾陽子委員、田中弥生委員、藤井眞理子委員、松浦正敬委員(テレビ会議による出席)、山口昌紀委員、薄井充裕臨時委員、白石小百合臨時委員、森田朗臨時委員

(総務省)
武藤総務大臣政務官、戸塚総務審議官、新井行政評価局長、長屋官房審議官、讃岐官房審議官、白岩総務課長、荒木企画課長、箕浦政策評価課長、渡邊企画課企画官
4. 議題
 - 1 会長互選、会長代理指名
 - 2 大臣政務官挨拶
 - 3 委員等挨拶
 - 4 政策評価審議会の所掌事務及び組織・権限について
 - 5 政策評価審議会議事運営規則について
 - 6 政策評価審議会の審議事項及び審議体制について
5. 資料
 - 資料1 政策評価審議会委員等名簿
 - 資料2 政策評価審議会の所掌事務
 - 資料3 政策評価審議会関係法令
 - 資料4 政策評価審議会議事運営規則(案)
 - 資料5 政策評価の概要、政策評価に関する審議事項(案)
 - 資料6 行政評価局調査の概要、行政評価局調査に関する審議事項(案)
 - 資料7 政策評価制度部会の設置について(案)
 - 資料8 政策評価制度部会の構成員(案)
 - 資料9 次回以降の審議日程
 - 参考資料1 政策評価・独立行政法人評価委員会提言(概要・本文)

参考資料2 「政策評価に関する基本方針」の一部変更について

参考資料3 行政評価等プログラム

参考資料4 過去10年における行政評価局調査の実績（平成17年度～26年度）

6. 会議経過

(1) 委員の互選により、岡委員が会長に選任された。岡会長が会長代理に谷藤委員を指名した。

(2) 武藤大臣政務官並びに各委員及び臨時委員から挨拶が行われた。

(3) 事務局から、政策評価審議会の所掌事務及び組織・権限について、資料2及び資料3に沿って説明が行われた。

(4) 事務局から、政策評価審議会議事運営規則（案）について、資料4に沿って説明が行われ、審議の結果、案のとおり決定された。

(5) 事務局から、政策評価審議会の審議事項（案）について、資料5及び資料6に沿って説明が行われ、審議の結果、今後の審議体制として、政策評価については部会を設置して谷藤会長代理を中心に審議を進め、行政評価局調査については藤井委員及び森田臨時委員がテーマ選定の中長期的な考え方について検討することとなった。質疑等の概要は以下のとおり。

- ・ 現在の行政評価局調査のテーマは、大小様々なレベルのものがあり、テーマ選定基準の置き方やその上にあるビジョンの立て方についても検討が必要ではないかとの意見があった。
- ・ 行政評価局調査のテーマ選定に関する中長期的な考え方のイメージについての質問に対して、行政評価局調査に持続的に取り組んでいくための基本的な考え方であり、毎年度のテーマ選定に寄与するものであるとの説明があった。
- ・ 上記に関連して、例えば次の3年間におけるテーマ選定の方向性を示して調査対象となる各府省に心構えを持たせるとともに、政府全体では約500の施策がある中で、中長期的な考え方を踏まえテーマを選定することにより、行政評価局調査を体系化すべきとの意見があった。
- ・ 上記に関連して、国民の関心はテーマ選定の基準の一つになるが毎年変化するものであり、一方で、例えば財政再建などの中長期的で解決困難な課題もあり、普遍性のある基準が必要であるとの意見があった。
- ・ 管区行政評価局等が実施する「地域計画調査」は審議事項に含まれるのかとの質問に対して、審議会では本省行政評価局が実施する「全国計画調査」が主たる審議事項となるとの説明があった。
- ・ 地方における最大の課題は地方創生であり、そのための総合戦略を策定し、

PDC Aサイクルを回して効果を検証していく必要があり、そのためのアドバイスなどをいただければありがたいとの意見があった。

(6) 事務局から、政策評価制度部会の設置（案）及び同部会の構成員（案）について、資料7及び資料8に沿って説明が行われ、審議の結果、案のとおり決定された。

(7) 事務局から、次回以降の審議日程について、資料9に沿って説明が行われた。

以上

(文責：総務省行政評価局)